

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2021年11月26日）

■第4版 第2刷（2021年2月20日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodosha.co.jp/correction/9784758113601_corrections.pdf をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第1章					
23	左段2)見出し	2)遺伝子多型と 遺伝子異常	2)遺伝子多型と 稀なバリエーション		21/11/26
23	右段上から4行目	遺伝子異常 という(図12). 遺伝子異常 のように、ごく稀にしかみられない 遺伝子変異は、直接病気の発症に結びつく場合が少ない。	稀なバリエーション という(図12). 稀なバリエーションは直接病気の発症に結びつく場合が少ない。この稀なバリエーションという言葉はまだすべての専門家からコンセンサス(合意)を得られているわけではなく、統一した言い方が決まっていなのが実状である。		21/11/26
23	図12 タイトル	遺伝子多型と 遺伝子異常	遺伝子多型と 稀なバリエーション		21/11/26
23	図12	遺伝子異常	稀なバリエーション		21/11/26
第4章					
70	右段2)グリコーゲンの6行目	分枝酵素(ブランチングエンザイム) によって合成され、	分枝酵素(ブランチングエンザイム)などのグリコーゲン合成に関わる酵素 によって合成され、		21/07/30
71	図5脚注	合成酵素は 分枝酵素(ブランチングエンザイム) という	合成酵素のなかには 分枝酵素(ブランチングエンザイム) というものがある		21/07/30
73	図8脚注	筋肉と肝臓には グリコーゲン合成酵素(分枝酵素) が存在するため、	筋肉と肝臓には グリコーゲンを合成する酵素 が存在するため、		21/07/30
74	左段下から3行目	分枝酵素(ブランチングエンザイム) などの グリコーゲン合成酵素 を活性化させ、	分枝酵素(ブランチングエンザイム) などの グリコーゲンを合成する酵素 を活性化させ、		21/07/30
第5章					
92	②n-6系脂肪酸	植物油に多く含まれる。日本人が摂取するn-6系脂肪酸の98%は リノール酸 である。体内で合成できないため、積極的に摂取する必要のある脂質(必須脂肪酸)だが、 酸化されやすい(劣化しやすい)ため摂取上限の目標量が設定されている。過度な摂取はよくないということである。 n-6系脂肪酸にはリノール酸以外に重要なものとして、 アラキドン酸 がある。…	植物油に多く含まれる。日本人が摂取するn-6系脂肪酸の98%は リノール酸 である。体内で合成できないため、積極的に摂取する必要のある脂質(必須脂肪酸)である。 適度な摂取の目安として目安量が設定されている。 n-6系脂肪酸にはリノール酸以外に重要なものとして、 アラキドン酸 がある。…		21/06/11
第6章					
119	表5	成人	>成人(>18歳)		21/05/14
119	表5 スレオニン(トレオニン)の3~10歳の数値	26	25		21/05/14
第7章					
127	右段2)ビタミンDの1行目	植物由来(特にキノコ類) の	キノコ類由来 の		21/07/30
127	同5行目	植物 において	キノコ類 において		21/07/30
127	図3	植物	キノコ類		21/07/30
第9章					
162	図9 アンジオテンシノーゲン	Asp-Arg-Val-Tyr-Ile-His-Pro-His-Leu-Val-Ile...		削除	21/11/26

162	図9 アンジオテンシン I	Asp-Arg-Val-Tyr-Ile-His-Pro- His-Leu - Val	Asp-Arg-Val-Tyr-Ile-His-Pro- Phe-His - Leu		21/11/26
162	図9 アンジオテンシン II	Asp-Arg-Val-Tyr-Ile-His-Pro- His	Asp-Arg-Val-Tyr-Ile-His-Pro- Phe		21/11/26
162	図9 キャプション	文献3 より引用	文献3 をもとに作成		21/11/26